

11/30 今年中も外も、おいしい楽しいがいっぱい
LIVE GINOWAN 2019 開催



ライブギノワン2019(主催:市教育委員会)が市民会館にて開催されました。今年は、飲食ブースはもちろん新たに野外ステージも設置され、音楽ワークショップやプラスバンドの生演奏等が披露されました。市民会館大ホールでは、ダンスや音楽等のパフォーマンスのほか、審査員による審査と来場したお客さんの投票コンテストが行われ、見事、「A Summer of Lovely」がグランプリに輝きました。

12/2 17日間にわたる激闘!!
第71回沖縄県民体育大会 結果報告



11月8日～24日に開催されました「第71回沖縄県民体育大会」において、優秀な成績を修めたことによる結果報告に、宜野湾市体育協会(石川正信会長)をはじめ、選手の皆さまが訪れました。石川会長は「去年と比べると、今年は躍進いたしました。選手の皆さまをはじめ、役員の方々の皆さまの頑張りが功を奏したと思います。」と語りました。宜野湾市は、団体優勝は減ったものの、全体の成績が伸び、男女総合8位の成績を修めています。

12/3 第10回ニッポン全国ご当地おやつランキング
「おきなわ生コルネ」グランプリ獲得



市宜野湾の「コルネとサンドのお店 pippi」の宮國代表が松川市長を訪ね、東京都で開催された「ご当地おやつランキング」にてグランプリ獲得の報告を行いました。宜野湾市からグランプリ獲得は2回目となります。報告会で宮國代表は「周りの方々に支えられ、育ててもらった商品だと思います。この先も今以上にクオリティを上げていくため、スタッフと共に頑張っていきます」と受賞の喜びを語りました。

12/2 誰もが自分らしく、安心して暮らせるまち
「地域でがんばる仲間たち」パネル展開催



12月の「障がい者週間」に合わせ、市内の福祉団体や福祉サービス事業所等の活動内容の紹介や、利用者が作った物品などを販売する「第17回地域でがんばる仲間たちパネル展」が市役所1階市民ギャラリーにて開催されました。初日のオープニングセレモニーでは、参加団体を代表して、安田佳世さんが「自分たちの作った商品がお店に並ぶのは、とても嬉しいです」と日頃の活動の感想を語りました。

12/2 いち早い復興を願って
文化協会より首里城復興募金贈呈



宜野湾市文化協会(新城康弘会長)より、首里城復興に向けた支援金をお預かりしました。この支援金は、11月9日(土)・10日(日)に開催された「宜野湾市文化祭」において、首里城の復興支援ができないかとの思いから募った支援募金で、新城会長は「首里城の火災を受け、文化祭40周年という節目をただ喜んで開催するわけにはいかないとはいえないと思います」と語りました。

12/7 夜でも安心して散歩ができる通りへ
ヒルズ通り イルミネーション点灯式



ぎのわんヒルズ通りにあるZUMI CAFEにて、同通りのイルミネーション点灯式が行われました。今年約200m延長したイルミネーションは、昨年と合わせて全長約470mになりました。同通り会の上原一彦会長(有限会社ジョウゲン開発)は「観光客の誘客で地域が盛り上がるだけでなく、周りに住んでいる方々が、夜でも安心して散歩できる環境にも役立っており嬉しいです」と語りました。

11/13 地域の消防防災リーダーとして力を発揮
第24回全国女性消防操法大会出場



宜野湾市消防団女性消防隊が、横浜市の赤レンガ倉庫で開催された「第24回全国女性消防操法大会」に出場しました。宜野湾市消防団は、沖縄県代表として連続の出場となり、日頃の仕事、家事や育児の合間をぬって6月から重ねてきた訓練の成果を十分に発揮し、沖縄県としても過去最高の得点をマークして、みごと入賞しました。

11/21 「災害時における支援協力に関する協定書」
イオン琉球と災害時の協定を締結



災害が発生した際に被災市民に対して食糧や必要物資を供給できる体制を整えるためにイオン琉球株式会社(佐方圭二代表取締役社長)と本市が協定を結びました。さらに本協定では「一時避難場所としてイオン店舗の提供」を盛り込んでおり、より柔軟な災害体制の構築を目指しています。佐方代表取締役社長は「阪神淡路大震災の経験から、有事の際の仕組み作りは非常に大切だと思っています。なので、今回の協定はうれしいものです」と語りました。

11/27 2019年度沖縄県女性海外研修セミナー
「翼の会ぎのわん」研修報告



「翼の会ぎのわん」の皆さまが市役所を訪れ、海外研修セミナー「女性の翼」に参加した津嘉山由美子さん、山田久枝さん、小橋川まさ美さんが報告を行いました。本研修は、女性を海外に派遣し、視察を通して「平和で活力に満ち潤いのある沖縄県づくり」を実現できる人材育成を目的としています。山田さんは「私のグループは教育をテーマに研修に行きましたが、男女平等を目指すには、幼少期からの教育が必要と感じました。」と研修の感想を語りました。

11/21 自助・共助の精神を基に
喜友名区・嘉数ハイツ自主防災組織が発足



喜友名区・嘉数ハイツに自主防災組織が発足し、喜友名区自治会の知念桂子会長、嘉数ハイツ自治会の金城均会長に松川市長から認定証が授与されました。市内の自主防災組織としては11番目、12番目の発足となります。自分の身は自分で守る・お互いで助け合う「自助・共助」を推進し、安全・安心に暮らせるよう自主防災活動を取り組みます。

11/25 生徒たちと楽しい体育の授業を
JICA海外協力隊員 出発報告



途上国の課題解決に向けて活動を行う、JICA海外協力隊の市出身である盛島加菜さんが市役所を訪れ、派遣出発の報告を行いました。派遣先のウガンダ共和国では、昨年の12月10日から2年間、中等学校の生徒を対象に体育の授業を実施し、課外スポーツ活動にも参加します。また、日本とウガンダ共和国とで協力して作成が進められている体育指導書について、情報提供やワークショップ等への参加を予定しています。

11/30 笑顔で遊び、学べる、明るく楽しい居場所へ
大謝名児童センター開所式および内覧会



昭和58年に開所し、地域の児童健全育成の拠点として親しまれてきた大謝名児童センターの老朽化に伴い、新たに建て替えた同児童センターの開所式および内覧会が行われました。参加した大謝名小学校4年生の石嶺珠華さんは「新しい児童センターで遊ぶのが楽しみです」と語り、同小学校5年生の金城陽和さんは「毎日来て、卓球がしたいです」と話しました。